

新潟県の概要

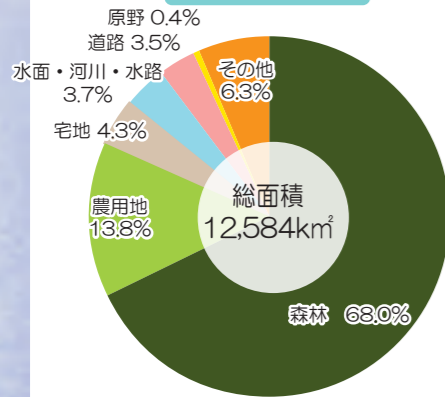
県の位置

新潟県は日本海沿岸のほぼ真ん中に位置し、朝日山地、飯豊山地、越後山脈、西頸城山地及び白馬山地の1,500mから2,000m級の山々に囲まれ、面積は12,584.10km²（内、佐渡島855.61km²、粟島9.78km²）で、北海道、岩手県、福島県、長野県に次いで全国第5位の広さをもつ、南北に長い県です。

【県の面積・海岸線等】

| 区分 | 面積(km ²) | 東西の長さ(km) | 南北の長さ(km) | 海岸線(km) |
|----|----------------------|-----------|-----------|---------|
| 本土 | 11,718.71 | 199.9 | 201.7 | 331.0 |
| 佐渡 | 855.61 | 32.7 | 59.5 | 281.5 |
| 粟島 | 9.78 | 4.5 | 6.1 | 23.1 |
| 合計 | 12,584.10 | - | - | 635.6 |

土地利用の様子

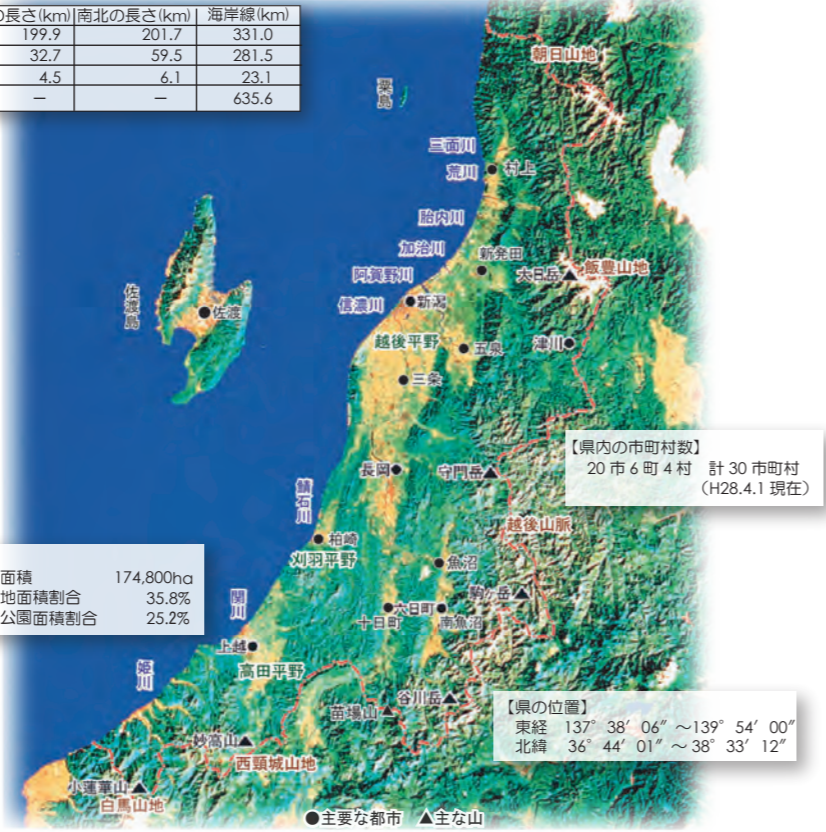


出典：用地・土地利用課「土地利用現況調査」

【土地】

| | |
|----------|-----------|
| 耕地面積 | 174,800ha |
| 可住地面積割合 | 35.8% |
| 自然公園面積割合 | 25.2% |

【県の位置】
 東経 137° 38' 06" ~ 139° 54' 00"
 北緯 36° 44' 01" ~ 38° 33' 12"



県の地形

本県は、県境付近に連なる山々が急峻で谷が深く、脆弱な地質と相まって土砂の流出が大きいため、全国一の地すべり地帯となっています。また、これらの山岳に源を発する信濃川、阿賀野川の下流域には、日本海沿岸随一の広大な越後平野、鯖石川下流域には刈羽平野、関川下流域には高田平野などが広がっています。

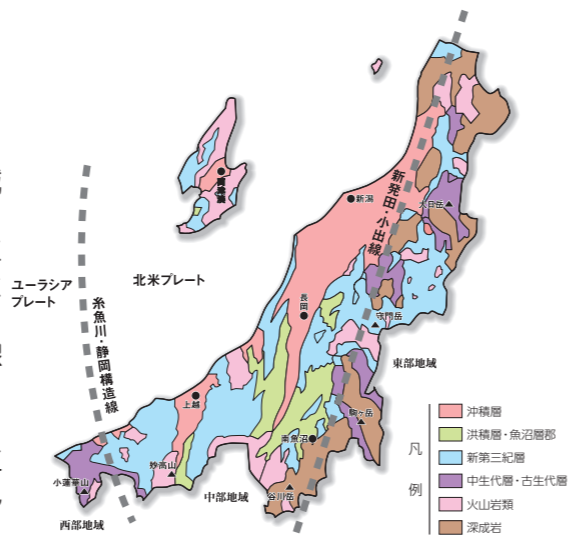
県の地質

本県は、地質の違いにより大きく東部・中部・西部の三地域に分けることができます。

東部地域は、村上市から新発田市・旧小出町さらに魚野川に沿って苗場山（標高 2,145m）を結ぶ線から、東側の古生層と花崗岩類を中心とした地域です。

中部地域は東部地域の境から、いわゆる糸魚川-静岡構造線間の地域で、新第三紀、第四紀層の津川層から寺泊層、椎谷層、西山層のほか、火山岩類や魚沼層群等からなります。

また、西部地域は糸魚川-静岡構造線以西で、中世層・古生層が広く分布し、ほかには相川層群や第四紀火山岩類が見られます。



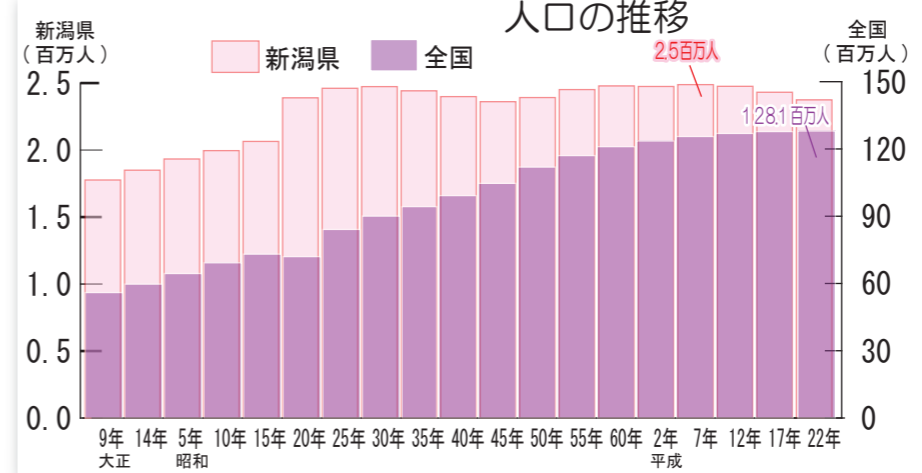
県の人口

本県の人口は、平成7年国勢調査では248.8万人と過去最高となりましたが、平成12年国勢調査では247.6万人、平成17年度国勢調査では243.1万人、平成22年国勢調査では237.4万人、平成27年4月1日現在の推計人口※は229.9万人で、前年同月と比べると1.8万人減少しています。

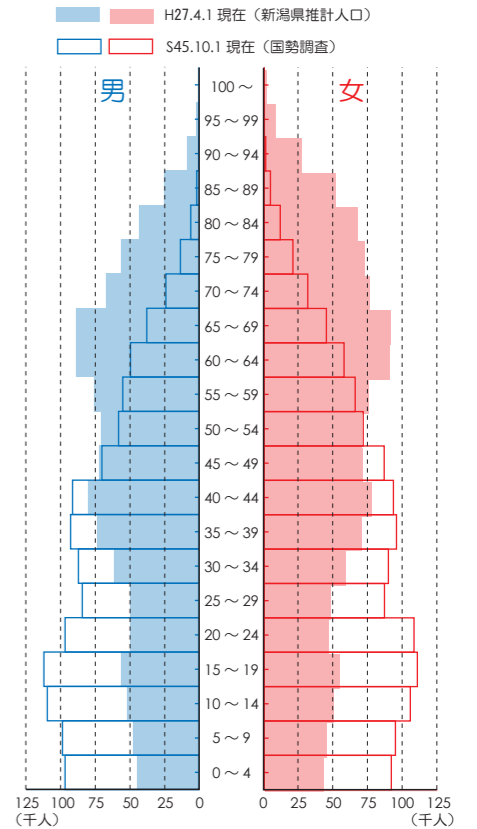
このうち、老年人口（65歳以上）の占める割合は29.6%で昭和45年の8.1%から21.5ポイントも増加しています。

※推計人口とは国勢調査の確定値を基に出生・死亡・転入・転出数を加減し各市町村の人口と世帯数を推計したものです。

出典：総務省国勢調査、新潟県推計人口



年齢別人口ピラミッド



県の気象

新潟県は、山形・福島・群馬・長野・富山の各県との県境が標高2,000m級の山に囲まれており、日本海に面しているという地形の影響により、日本でも有数の豪雪地帯として知られています。

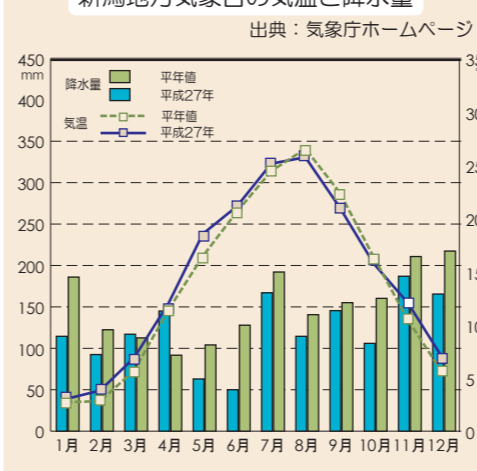
雪やみぞれの降る冬季に年間降水量の半分以上があり、年間降水量が1,821mm（※1981~2010年の平均）と極めて雨量が多い地方です。

平成27年度は例年よりも降水量が少なく、平年値よりも少ない状況でした。

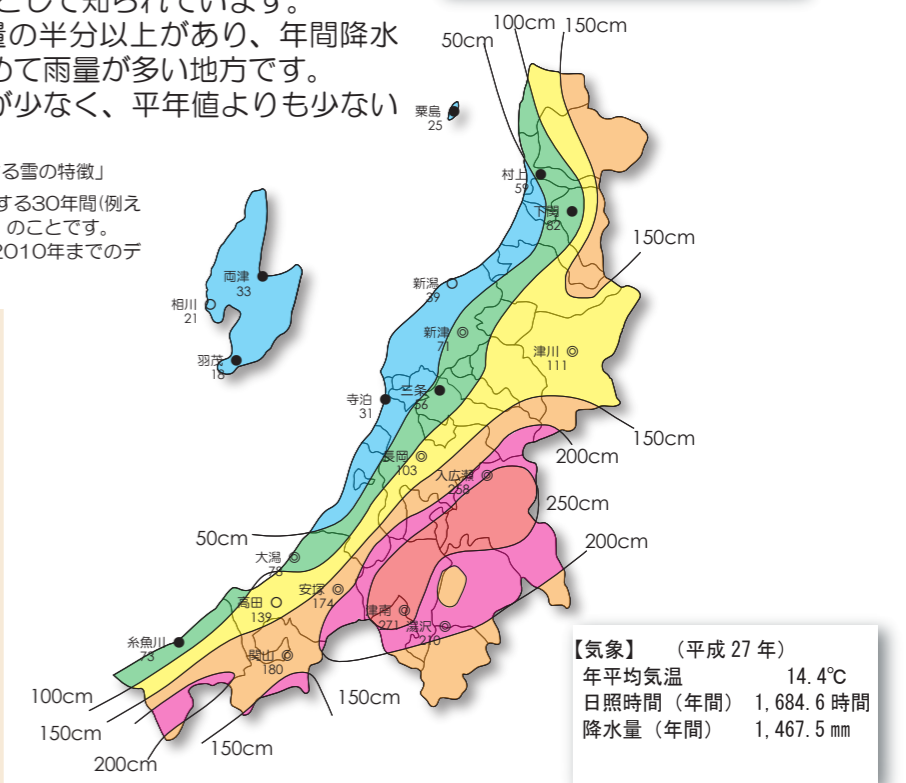
出典：新潟地方気象台ホームページ「新潟県における雪の特徴」

平年値とは「西暦年の1位が1の年から数えて、連続する30年間(例えば1981年から2010年)について算出した累年平均値」のことです。平年値は10年ごとに計算し、現在は1981年から2010年までのデータから求めた値を使用しています。

新潟地方気象台の気温と降水量



最深積雪平年値分布図



統計期間：気象官署 [O]1971-2000年、アメダス [◎]1980-2000年、委託観測所 [●]1978-2000年